

Release Notes

NITRO-SDK

2007/2/15

任天堂株式会社

Version: NitroSDK-4.0

本パッケージについて

本パッケージはニンテンドーDS（開発コード NITRO）のアプリケーションを開発するための基本ライブラリセットです。NITRO のアプリケーションの開発効率を高めるためにさまざまな API が用意されて、ハードウェアレジスタを抽象化し、視認性の高いソースコードを作成するお手伝いをいたします。またメモリや割り込みなどのシステムリソース管理の標準的な機構をご提供いたします。

パッケージに含まれるもの

- NITRO-SDK ライブラリ（グラフィックス・OSシステム サブプロセッサ用コンポーネント etc）
- オンライン版関数リファレンスマニュアル
- NITRO機能別デモプログラム
- 開発ターゲットの切り替えを統合したmakeシステム

変更点について

NITRO-SDK 4.0 までにリリースされた個々のパッケージでの変更点については、オンライン関数リファレンスマニュアル中の「NITRO-SDK 4.0までの変更履歴」の頁をご参照ください。

主だった変更箇所は以下の通りです。

- CARD ライブラリで、DMA 転送中にカードを抜くと画像が乱れる不具合がありましたので、これを修正しました。
- GX ライブラリで、GXBg23Control256x16Pltt 構造体から必要のない reserved 領域を削除した新しい構造体 GXBg23Control256x16Affine を追加しました。
- GX ライブラリで GX_SetVCount 関数のリファレンスに注意書きを追記しました。
- MB ライブラリで、ダウンロード中に蓋を閉じカードが抜けた場合、強制停止してしまう不具合があり、これを修正しました。
- OS ライブラリで、OSOwnerInfo 構造体のメンバ nickName、comment について、終端コードに 2byte ずつ領域を確保するように変更しました。
- OS ライブラリで、OS_Init 関数実行後に V カウント値が一定になるように変更しました。
- PM ライブラリで、ストリーム再生中にカードが抜けた場合、電源が OFF されない不具合があり、これを修正しました。
- bash の仕様変更にともない、bash スクリプトの改行コードを CRLF から LF に変更しました。
- enum が 常に int サイズで定義されるように変更しました。
- makelcf のデフォルト IRQ スタックサイズを変更しました。
- IRQ ハンドラ内のスレッド切り替え処理に不具合があり、これを修正しました。
- NITRO-SDK のビルドに使用する CodeWarrior のバージョンを 2.0SP1 に変更しました。
- その他、既存の各ライブラリに修正および機能追加を行いました。